

2月25日(月)

誰の体ですか？

聖書朗読 黙示録 19:11~16

よく指導の任に当たっている長老は、二重に尊敬を受けるにふさわしいとしない。みことばと教えのためにほねおっている長老は特にそうです。聖書に「穀物をこなしている牛に、くつこを掛けてはいけぬ」、また「働き手が報酬を受けることは当然である」と言われているからです。長老に対する訴えは、ふたりか三人がなければ、受理してはいけません。罪を犯している者をすべての人の前で責めなさい。ほかの人をも恐れさせるためです。 Iテモテ 5:17~20

私たちは素晴らしい国に住んでいます。しかし、私たちの政府の形態は聖書が定義する政府とはかなり違ったものとなっています。たくさんの人々が王のもと、または天皇のもとで生活しています。(そして、多少の人々は現人神であると信じていました。)それはどのように私たちの教会の機能に影響してくるのでしょうか？

民主主義の考え方は、各々が投票権を持ち、投票の重みは同じであるとしています。そこには王はなく、もしも状況に不満があれば、改善のために票を投じることができます。

しかしながら、教会は民主主義ではありません。聖書はこの点について、明確に示しています。教会を体に例え、『御子はその体である教会の頭です。』(コロサイ 1:18)と述べています。教会の頭は御子、イエス・キリストなのです。

教会は役割を良く果たせる長老たちにより、任務が果たされています。彼らは、私たちが選んだと言うよりも、長老としての働きを果たすべく神により召されたのです。イエス・キリストの御体として、私たちは共に働き、お互い非難しあうことなく、長老から利益を受け、長老のために祈るべきです。

私たちの国ではよく分析し、投票しましょう。教会では互いに励まし合い、真実の中にある愛について話しましょう。

聖歌 201

祈り 父なる神よ。私たちが祈り、助け、励まし合うことよりも、不満を漏らしてしまうことをお許しください。もっと精力的にあなたの御体の一部になるためにどうすべきか、見せてください。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ロドニー・トーマス
テキサス州 ラボック

※ この文章を書かれた方はお年を召した方で、日本の天皇制に関するコメントかと思われまふ。(訳者注)

今日の方

2013年2月25日~3月3日

翻訳 伊藤若菜

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月26日(火)

もしあなたが聞こえなかったならどうしますか？

聖書朗読 使徒 2：37～47

そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをなし、パンを裂き、祈りをしていた。 使徒 2：42

クリスチャンの人々が輪になって座っていました。その中に若い女性がいて、熱心に話している人を見つめて、話を聞いていました。議題が日曜朝の集会の質について触れた時でした。遠慮がちに「皆さんもご存知のように、私の耳はよく聞こえず、説教を漏らさず聞き、祈りを聞きとり、聖書拝読や共有の瞑想を理解するのは難しいです。歌を聞きとることすら難しいです。しかし、私の信仰はしっかりと立ち上がっています。そこにいることで、私の信仰は育つのです」と述べました。

使徒2章は話すことと聞くことについて全面的に触れられています。ペテロが「声を張り上げ」たところ、人々は「私たちはどうしたらよいのですか？」と反応しました。そこには「使徒の教え」と「祈り」がありました。しかし、もしもあなたがそこにいたならば、聞こえなかったものは何でしょうか？ 先ほど若い女性が言及したように「交わり」に、「パンを割くこと」(聖餐式)、「業とするしが行われていた」全てのものを共有し、「時を共に」、「共に食卓を囲む」ことに焦点を置くべきです。そうして、彼女の信仰は育ったのでしょうか。ただ、そこにいて、与え、受け取れることを出来る限りしようと決心したからでしょう。

子どもの頃、母にどうして私たち家族は頻繁に教会へ行くのか聞きました。母は「ああ、お互い励まし合うためよ」と言いました。その言葉の意味が、今なら分かります。言ったり、聞いたりする以外にも、交わりの力があるのです。

讃美歌 537

祈り お父様、私たちが教会へ行く時、互いに励まし合えるよう助けてください。キリストの御体は礼拝で、何を言って、聞いて、見たかにより形作られるでしょう。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン

共同編集者 スティーブン・S・レムリー

2月27日(水)

奇跡の後

聖書朗読 マルコ 6：45～52

そして舟に乗り込まれると、風がやんだ。彼らの心中の驚きは非常なものであった。というのは、彼らはまだパンのことから悟るところがなく、その心は堅く閉じていたからである。 マルコ 6：51～52

最近のあなたの祈りが答えられたことはありますか？ 弟子たちは五千人もの人たちが食べ物を与えられる奇跡を目の当たりにしました。彼らはお腹をすかせた人々に食べさせるパンを全く持っていなかったのです。バストを尽くしましたが、5つのパンと2匹の魚しか持ち合わせていませんでした！

しかし、イエス様はそれを手に取り、感謝の祈りを捧げ、分けられました。五千人もの人たちに食べさせることが出来たのです！ それでも食べ物が残ったなんて、本当に驚くような出来事です。そこになかった食べ物が、今はあなたの手の中や、バスケットの中にあるのです。

彼らはその奇跡を目の当たりにしましたが、理解出来ませんでした。

イエス様は、舟で弟子たちに休憩を与えられました。弟子たちが、何が起きたのか気持ちの整理が出来ていなかったからです。イエス様は彼らのところへ来られ、「安心なさい。わたしだ。恐れることはない」と言われました。なぜ彼らはそのような奇跡を見た時、今現在や将来を恐れたりするのでしょうか？ イエス様が湖の上を歩かれているのを見た時、なぜ、彼らは度胸をなくし、怖がったのでしょうか？

私たちが職に就いた後、沈静の後、無くした書類を見つけた後や、理想の家を見つけた後・・・また次の危機や人生の嵐はやって来るものです。そんな時、私たちは、「わたしだ。恐れることはない」と投げかけられている声に気付いていないことがあるのではないのでしょうか。

讃美歌 112

祈り 全能の創造者である神よ。救い主、私たちの問題に注目してしまうことを赦してください。私たちの生活の中であなたのお力が働いていることを忘れてしまうことがあることをお赦してください。あなたが見えるよう、私たちを助けてください。私たちの心を解きほぐしてください。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン

共同編集者 エミリー・Y・レムリー

2月28日(木)

一つの意味——三人の女性

聖書朗読 出エジプト 2:1~10

私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあつ造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いもあらかじめ備えてくださったのです。

エペソ 2:10

神様のご意思がどのように人々の意思を動かすのかはミステリーです。神の忠実な僕であるモーセは神のご意思により生き残ることができました。私たちはモーセの話(赤ちゃんの時にバスケットに入れられ、流され、エジプトの王女に拾われた)を知っています。しかしこれは、神のご意思により、リスクを負ってもよいと思った三人の女性たちが動かされたのです。

ヨケベデは生まれた時点で殺さなければならない男の子の赤ちゃんを隠しておくリスクを知っていました。彼女はパピルスのかごに彼を入れて、ナイルの岸の葦の茂みの中に置きました。エジプトの王室に見つけられ、処刑されるリスクを知っていましたが、実行しました!

私たちはモーセの姉のミリアムが何歳だったかは知りませんが、しかし、彼女はナイル川にはワニがいて、エジプト人はヘブライ人奴隷を殺すことは十分に理解していました。しかしながら、彼女は自分の弟のために、自分が犠牲になってもよいとリスクを取ったのです。

ファラオの娘についても、私たちはあまり知りませんが、しかし私たちは彼女がヘブライ人の赤ちゃんであることを知っていたことを知っています。ヘブライ人の奴隷の赤ちゃんを拾い、乳母を雇ったことが公になれば、リスクもあったでしょうが、彼女はリスクを負いました。

誰もモーセがどのような人になるのか知りませんでした。三人の女性は正しいことをするためにリスクを負い、神のご意思はかなえられました。私たちが意思を持っている時、神のご意思は行われているのです。

讃美歌 270

祈り 父なる神よ。私たちはあなたの素晴らしい目的が見えないことがあります。しかし、それに気がつき、あなたのご意思とともに生き、正しいことをするリスクを負えるよう助けてください。あなたのご意思を信じられるよう助けてください。全能なる神よ、あなたのご意思と共に私たちを動かしてください。

私たちの救い主、イエス様の御名を通してお祈りします。アーメン。

ティム・ケリー

カリフォルニア州 チコ

3月1日(金)

呼び出しに答える

聖書朗読 出エジプト 3:1~15

主は彼が横切つて見に来るのをご覧になった。神は柴の中から彼を呼び、「モーセ、モーセ」と仰せられた。彼は「はい。ここにおります」と答えた。

出エジプト 3:4

電話が鳴りましたが、ナンバーディスプレイの表示を見たら知らない番号からの電話だったため、私は応答しませんでした。でも、留守電に娘がメッセージを残し始めたのを聞き、すぐに娘に電話をして、どうして彼女の携帯から電話してこなかったのか聞きました。

いくつかの呼びかけは明らかに神からのものです。たとえば燃え盛る柴のように。どうやってあなたはそれが本当に神からのものだと知りますか? そして、どうやってそれがあなたに対してだと知ることが出来ますか?

神様からの呼びかけなのかどうかを判断する時、私たちの人間的な予想と合っているとか、私たちにあって心地が良いとか、理にかなっている、と言ったことを基準にして考えることはできません。そのような基準と合致するような神様からの呼びかけは、聖書の中にも滅多にありません。もし或る事が、(御国の拡大と完成と言う)神様がなさろうとしている大きなご計画の障害となるようなものであるならば、それは神様からの呼びかけではありません。そのようなものは、神様の名誉や高潔さを傷付けるものです。

もし、それが本当に神様からの呼びかけであるのなら、私たちに用意して下さっているでしょうし、命令されるでしょうし、自信を持たせて下さるでしょう。神様の私たちに対する呼びかけは、みことばと共に与えられ、神さまのご計画と共にあり、私たちの奉仕や人々の救いの原動力なのです。そしてもしそれが神様からの呼び出しであるとき、それは私たちのためではなく、神様の栄光のためなのです。

神様から呼び出しがあったなら、答えなさい!

聖歌 433

祈り 神よ。あなたからの呼び出しが聞こえるように助けてください。またそれに答える勇気を持てるように、お助けください。

イエスキリストの御名を通してお祈りします。アーメン。

デイビッド・ペアーデン

アラバマ州 タスカルーサ

3月2日(土)

夜明け前の最も暗い時

聖書朗読 出エジプト 5章

主よ。立ち上がってください。人間が勝ち誇らないために。国々が御前で、さばかれないために。
詩篇 9：19

彼女の曾祖母は、奴隷の三代目として生まれました。彼女は現在でさえも、彼女が権力をもっておらず、奴隷として娘により良い生活を与えられなかったことを嘆いています。彼女の娘に流れる血は、代々の祈りを象徴するものです。——それは癒し、強くされること、そして殆どは自由についてです。口は疲れ、探し過ぎて目は弱くなり、耳は緊張感から鳴り続けましたが、神様からの御言葉はありませんでした。救出の気配もありませんでした・・・今までは。

モーセが砂漠から戻った時、私たちの生活を包む暗闇にかすかなる希望が見えました。神様は私たちの嘆きをお聞きになったのでしょうか？ 指導者は本当にファラオに直面したのでしょうか？ 最後に自由への希望をもつ方が安全でしょうか？

明らかにそれは違います。希望は高く、失望は深くあるべきです。わらなしのレンガ・・・それが私たちに何を出来るのでしょうか？

私たちはヘブライ人の奴隷たちが待ち望んでいた救出が実際に起こったことを知っています。これは過去の事実ですから、疑いの余地はないわけです。しかし、こんにち私たちも、同じくらい疑いの余地のないこととして確信できることがあります。すなわち、人生のどんな暗闇においても、その先には「空っぽの墓」(神の勝利)があると言うことを、信仰によって見る事ができるのです。

私たちは今も罪人であります・・・私たちは罪の中で死んでいるのです・・・まだ暗いうちは・・・墓は空けられてあります。もしも私たちがそれを見る目を持つことが出来たのなら。

讚美歌・第二編 174

祈り ああ父よ。私たちをエジプトから連れ出してくださった神よ。私たちの生命を持たない体に肉体を与えてくださり、あなたの救いの時を見られるよう、今この時、私たち自身に目を授けてください。

イエス様の御名を通してお祈りします。アーメン。

ドリュー・ベーカー

テキサス州 オースティン

3月3日(日)

脱出方法

聖書朗読 出エジプト 14：5～14, 29～31

イスラエルは主がエジプトに行われたこの大いなる御力を見たので、民は主を恐れ、主のしもべモーセを信じた。
出エジプト 14：31

あなたは絶対に逃げ場のないような状況に陥ったことはありますか？ そのような状況はこのように説明されます。ピンチの中、苦境の中、板挟みになって、窮地に陥って。私たちの人生における旅路は山あり谷ありで、時に行き止まりだったりします。あなたは今、苦境に立たされていますか？

出エジプト記 14章では、イスラエル人の子どもたちが苦境に立たされていました。彼らは行き止まりにいたのです。しかしながら、神様はこの難しい状況を準備されていたのです。行き止まりは神様にとって、広大なそして、イスラエル人に紅海で御自身の力を見せつけられる機会となりました。モーセは人々に立ち上がり、見て、落ち着くよう命じました。そして、イスラエル人はモーセが命じたとおりにし、神様は働かれました！ 神様はいつもそうであられます。

紅海は神様の命令によって、割れました。神様は私たちがするように、時を告げられることはありません。時折、神様は御心のままに午前3時にお働きになったりするし、正午であることもあります。私たちの時間を掻き乱すことはないのです。神様は神様自身のご意思にそわれ、私たちの期限などは関係ないのです。神様をお待たせするのではなく、私たちが神様をお待ちすべきなのです。

聖歌 307

祈り 父なる神よ。私たちを忍耐深く待ってください、感謝します。行き止まりかと思われる状況になろうと、強さと賢さを私たちにお授けください。私たちが敬うべき方を熟考出来ますように。私たちを置き去りにしないと言う約束、そして、逃げ道を作ってくださいに感謝します。

御子イエス・キリストの御名を通してお祈りします。アーメン。

ジョッシュ・バーネット

テネシー州 ナッシュヴィル